



澤本 長俊 議員

日本の100歳以上の人口は4年前で6万9700人、現在は8万6500人。高島市でも10年前と比べ、90歳代も100歳代も約2倍になっている。まさに人生100年時代を迎えようとしている。一般的に定年を迎え老後になるといわれる年齢が65〜70歳。そこから考えると100歳までまだ30年以上の時間がある。この30年以上の時間をどのように過ごしていくか、過ごしていけばよいのかと考えておられる方は少なくないと思われる。そこで、老後の人

人生100年時代に向けて

問 老後の人生を学ぶ機会が必要

ではないか

答 老後について考え学ぶ更なる機会づくりを検討していきます

生を学ぶ機会づくりについて質問する。

問 人生100年時代とはどういうことと考えているか。

答 教育総務部長

90年100年を超える人生を歩まれる方も珍しくない長寿時代を迎えています。退職後の人生が長くなり、これまでのライフスタイルの考え方は、埋められない新しい時間の過ごし方など、人生100年時代における新たな課題に対応していかなければならないと考えています。

問 老後の教育についてどのように捉えているか。

答 教育総務部長

退職後の人生の過ごし方を考え、学ぶことは、楽しみややりがいを生み、能力をさらに伸ばすという利点のほかに、学びによる新しい人とのつながりが、地域での孤立を防ぐとともに、地域の活性化につながることも期待されます。人生100年時代にあるからこそ、様々な人たちに学びの機会を提供することが重要であると考えています。

問 老後の人生について学ぶ機会づくりが必要ではないか。

答 教育総務部長

既に一部の取り組みとして、公民館教室や講座で行っているほか、この秋開講予定の(仮称)たかしま市民大学では、幅広い世代の方に受講いただき、対話、交流によって学びとつながりを深め、修了後はその学びを地域で活かせるようなカリキュラムとしています。

